

# 日刊建設産業新聞

発行所

日刊建設産業新聞社

本社 東京都板橋区板橋1-48-9

〒173-8710 電話 03(3961)1691(代表)

ファクス 03(3961)2251

(http://www.kensan-news.com/)

支社

大阪、神奈川、九州、中国、東北、甲信越

支局

埼玉、中部、神戸、岡山

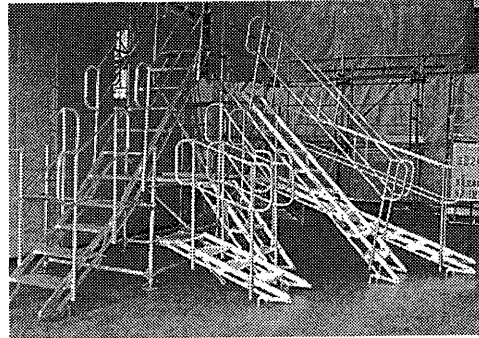
© 日刊建設産業新聞社

2012

## NETIS推奨技術に

### 法面2号ユニバーサルユニット自在階段

日綜産業



が確保される。

アルミ合金製で軽量化を図った本体は1・2桁タイプで自重15キ、2桁タイプ同22・5キ、3桁タイプ同28・5キの3種類。斜面の長さに合わせて選択と組合せを可能としている。許容荷重は250キ。

使用しない場合や設置長さ、高低差が大きな場所、購買変化が様々な場所への適用で効果が高い。4月末現在で2万台が稼働中だ。

今回、推奨技術に選定されたことで、総合評価方式の技術提案の審査において積極的に評価されるほか、施工者希望型の工事成績評価の加点対象となる。なお、今年度選定された推奨技術は4技術、準推奨技術は15技術だった。

#### 日綜産業のユニット型

昇降設備「法面2号ユニバーサルユニット自在階段」写真がこのほど国土交通省の新技术活用システム(NETIS)の12年度推奨技術に選定された。

同技術は、従来単管パイプにクランプ付きステップを一枚一枚取り付ける工法が主流だった法面用の昇降設備をユニット化。作業環境の安全性向上を図ったもの。20度から75度の取付け角度で幅57センチの踏み板面が常に水平となるのが最大の特徴だ。また、手すりもユニットに含まれている為、作業時および移動時の安全性

さらに、設置・解体・

盛替え時間が短縮され作業効率も大幅に向上している。特に、短時間した

# 日刊建設工業新聞

5月15日

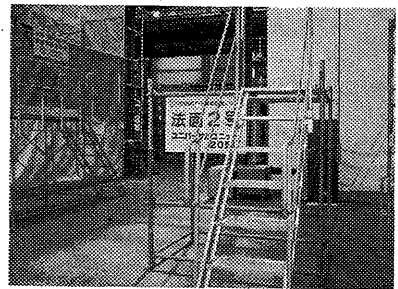
火曜日  
第17981号

## 法面用昇降設備が 国交省推奨技術に

日緑産業

日緑産業の法面工事用ユニット型昇降設備「法面2号ユニバーサルユニット自在階段」が、国土交通省の12年度推奨技術に選定された。

推奨技術は、NETI



Sに登録されている技術から、同省の新技術活用システム検討会議が公共工事等に関する技術の水準を一層高める新技術を選定する制度。同技術が計10件目。選定された技術を活用すると、総合評価方式や工事成績評定(発注者指定型を除く)で加点されるなどのメリットがある。

法面2号ユニバーサルユニット自在階段は、法面工事用昇降設備をユニット化し、設置解体作業効率を大幅にアップさせた。本体と手すりをアルミ合金製にしたことで軽量化され、足元の悪い斜面でも運搬・設置が容易にできる。設置角度が自由に換えられる手すり付きステップも採用した。

従来の法面工事用昇降設備は、単管パイプにクランプ付きステップを1枚ずつ取り付けて設置する工法が使われており、設置に多くの手間と時間を要していた。

5月18日

2012年  
(平成24年)

金 曜 日  
第17614号(日刊)  
土、日曜・祝日は休刊

Metal & Technology

# 鉄鋼新聞

## 日綜産業の法面用昇降設備

# NETIS(国交省)の推奨技術に

軽仮設機材メーカー  
日綜産業(本社・東京  
都中央区、社長・小野  
辰雄氏)の法面用昇降  
設備「法面2号ユニバ  
ーサルユニット自在階  
段」の写真がこのほ  
ど、国土交通省が運営

するNETIS(新技  
術情報提供システム)  
の平成24年度推奨技術  
に選定された。

同技術は法面角度20  
〜75度の土木作業現場  
での工事に適した幅広  
のアルミ合金製法面据  
え置き設置型昇降階  
段。軽量かつ持ち運び  
が容易なユニット型の  
ため、従来の単管とク  
ランプのパイプステッ  
プに比べると組み立て  
や解体、盛り替えが簡  
単に行える。05年に開  
発され、09年にNET  
IS登録、昨年5月に  
は有用な技術として設  
計比較対象技術に選定  
されていた。

推奨技術は「公共工  
事に関する技術水準を  
一層高めるために選定

された画期的な新技  
術」という定義。飛躍  
的な改善効果や幅広い  
活用が期待されるなど  
いくつかの選考要件を  
満たした技術で、現在  
までわずか10件しか選  
定されていない。

推奨技術に選定され  
ると、総合評価方式の  
技術提案において積極  
的に評価される。また、  
施工者希望型において  
発注者が適切と判断す  
る場合には工事成績評  
定の加点対象となるな  
ど、今後の公共工事等  
での幅広い普及が期待  
される。

